

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp

URL：http://j-jafra.jp/

巻頭レポート

デジタルメディアへの取り組み ～新型車両5000系とターミナル駅

株式会社京王エージェンシー
交通広告事業部
志賀 一徳

昨秋、京王電鉄株式会社では16年ぶりの新型車両となる5000系が営業運転を開始しました。この5000系は、2018年2月22日より座席指定列車「京王ライナー」としても運行を開始いたします。今号、私からはこの5000系の広告販売と、京王のターミナル駅「新宿」「渋谷」の駅デジタルサイネージを紹介させていただきます。

新型車両5000系

■販売仕様の検討

京王交通広告の取り扱い額は、同業他社局と同様に紙メディアの苦戦、デジタルメディアの伸長、という構図でここ数年推移しています。特に車両広告においては、中づり・まど上の取り扱い額の減少は様々な企画を投入しているにも関わらずなかなか歯止めがかからない状況が続いています。一方、車両ビジョン（商品名：KIDGチャンネル）は、2013年度から徐々に搭載車両数を増やし料金改定も行いながら取り扱い額を

増やしてきました。そのような状況のもと、今回久しぶりの新型車両5000系が導入されることとなり、昨春から広告販売仕様の検討を行ってきました。

新型車両5000系

0系の大きな特徴は、天上部（中づり部）にも車両ビジョンが設置されていることです。ドア上部の車両ビジョンと同素材を放映するか、異なる素材を放映するか、議論が必要でした。また、今春の座席指定列車サービス開始に先駆けて、通常の運行ダイヤに編入さ



京王線新型車両5000系

れることが決まっていたため、KID Gチャンネルと同内容を放映するという選択もありました。複数の広告販売仕様を検討した結果、「5000系単独の車両ビジョンジャック販売」という仕様にしました。

座席指定列車サービス開始後の運行形態が未定のため、2017年度限定のトリアル商品ということで皆様にご案内させていただいております。

■広告販売仕様

新型車両5000系の広告販売は1社貸切タイプとなっており、車両ビジョン（天井部・ドア上部）ジャックを基本とし、まど上ポスターとドア横ポスターはオプションとして選択可能となっています。

車両ビジョンは各箇所とも2画面で構成されていますが、いずれも右面は行先表示等の業務専用となっており、広告は左面にて放映されます。



車両ビジョンドア上のLCD



枕木方向LCD

天上部車両ビジョンは各車両6か所、ドア上部車両ビジョンは各車両8か所となっており、広告素材は1車両あたり14面で放映されることとなります。

第1弾として株式会社ジュピターテレコム（J・COM）様の広告を11月20日（月）～12月4日（月）の間、放映いたしました。

■2018年度の5000系広告

今回のトリアル販売における代理店の皆様の声、座席指定列車サービスの運行時間、天井部とドア上部の視角、などの検討要素をベースに、よりクライアントの皆さまにお使いいただけるよう、効果的で魅力的な販売仕様の策定を行っているところです。お楽しみにしてください。

生まれ変わったターミナル駅のデジタルサイネージ

昨年春に渋谷駅、昨年暮れに新宿駅のデジタルサイネージを相次いでパワーアップさせました。

■渋谷駅

井の頭線渋谷駅では、2012年10月から「渋谷KIDGウェーブ」を販売

してきました。お陰様で毎年高稼働率で推移しています。動線に沿って連続して正対している点が評価を受けているのでは、と考えています。この稼働をキープしつつ、さらにデジタルサイネージ商品を拡大できないか、ということとで昨年、改札内に新たにデジタルサイネージ19面を設置しました。改札内のホーム階にデジタルサイネージを設置するのは京王初の試みでした。同時に既存の商品も9面増設し37面としてリニューアル、「渋谷KIDGウェーブAエリア」としました。新設の改札内は「渋谷KIDGウェーブBエリア」として販売し、当初の販売想定を超えるご利用をいただいております。

■新宿駅

続いて、毎日多くの乗降客でにぎわう京王線新宿駅のデジタルサイネージも、2017年12月25日より改札内に6面新設し新商品「新宿KIDGシックス」として販売を開始しました。同時に改札外にも3面増設し、既存の商品「新宿KIDGピ



新宿 K-DG シックス



渋谷K-DGウェーブ 改札正面外から中を望む

リエ」は30面となりました。両商品合わせて計36面となり、面数だけでなく、接触機会も拡大されました。

「新宿K-DGシックス」は広告主1社買い切り販売とし、多様なクライアントニーズに対応。リアルタイムの広告表示ニーズにも今まで以上にお応えできるようシステムも改修いたしました。

また、「新宿K-DGシックス」と「新宿K-DGピリエ」デジタルジャックする「新宿K-DGジャック」、さらには既存媒体の「京王×階段集中ばり」をプラスすることで京王線新宿駅のコンコースをフルジャックする「新宿駅コンコースジャック」も可能となり、京王線最大の乗降客数を誇る新宿駅での広告の視認性がこれまで以上に高まりました。

終わりに

2020年に向けて更なる媒体の開発、連携が必須であると考えられますので、そういった広告主の皆さまの要望やマーケティングにフィットする新しいメディア、その活用方法そして広告展開を今年も提案していきたいと思っています。渋谷や新宿のような大規模ターミナル以外の駅でのデジタルメディアの在り方も検討しなくては、と感じています。

広場

「体を動かす」

理事 小濱 和彦 (JR九州エージェンシー株式会社)



駅伝大会 (次のランナーにタスキ渡し)

いつ頃からは、はつきり覚えていますが、50歳代を迎えたところからだっと思えます。もともと学生時代には、運動が好きだったのですが、社会人になってからは運動から遠ざかり残業と暴飲暴食に喫煙とおよそ健康管理からは極めて間逆の怠惰な生活を長く続けていました。

おかげで、入社時より体重は20キロ増、上がってはいけないうるような数値も上昇しましたので、とりあえず、週末ジョギングを近くの公園でやりはじめました。1年も続けると習慣になり、週末出張等で走れずに(実際は歩いているように見えます)汗をかかないと何となく体調がすぐれないと感じるようになりました。

さらに、職場のコミュニケーションのためにレクリエーションの機会を増やそうとJR九州グループの駅伝大会に、他の社員を誘って自らも参加するようになり、この10年ほど毎回参加しています。

駅伝の良さは、一つのタスキを次のランナーに繋いでいきゴールにむかっている、それに苦しい時の応援の力が加わり、

走っているのは個人ですが、組織的な活動で仕事にも十分通じるものがあると感じています。



ソフトボール大会 (バッター)

少し身体が動くようになると、調子に乗って弊社グループや広告業界のソフトボール大会や町内の運動会の対抗リレー競技などに積極的に参加するようにしています。

もちろん、昨年の師走に61回目の誕生日を迎えた私としては若い時のように動けないし、早く走ることもできません。それでも、今の自分にできることを精一杯体現することは、いくつになっても自分自身に達成感を得られますし、生活や仕事にマンネリ化を感じている後輩に少しでも刺激を与えることができるのではないかと思っています。

どこまで続けられるかはわかりませんが、身体が動く限りは「年寄りの冷や水」にならない程度に継続していきたいと心密かに決意しています。

次回もお楽しみに。

2017年度 第2回理事会

12月7日（水）ジェイアール東日本企画10F大会議室において24名の理事が出席し開催した。

冒頭に今本会長から挨拶があり、引き続き審議が行われた。
審議内容は以下の通り。

第1号議案 副支部長の委嘱

人事異動等の事由により、定款施行規則第10条1項に基づき、平成28年12月7日付で副支部長の委嘱を行ないたいと加藤専務理事より次の通り説明があり、本議案は承認された。

○四国支部 副支部長（敬称略）
（新任）都築 高司
（株）交通新聞社 四国支社

（退任）塩日出男

第2号議案 新規会員の入会承認

次の2社より入会希望があり、提出された会社概要等について審査し

たところ、問題がないため、2017年12月7日付で入会を承認することとしたいと加藤専務理事より説明があり、本議案は承認された。

社名・（株）北海道博報堂

（正会員 北海道支部）

代表者・池田 剛

所在地・北海道札幌市中央区

今本会長挨拶

本日は師走に入りましての大変お忙しい中をご出席いただき誠にありがとうございます。また、平素は当協会の運営に関しまして何かとご支援ご尽力を賜っていることを重ねて御礼申し上げます。

申西騒ぐという格言があるようですが、昨年の申年に続きまして今年の酉年も我が国の内外共に本当に大きなたくさんの出来事がありました。しかもまだ過去形ではありません。昨日からはエルサルレムが大きな問題として浮上してきました。北朝鮮問題もこれありということですが、何とか大ごとにならずにあと20日余りで新しい

社名・（株）ヒット（賛助会員）

代表者・松丸 敦之

所在地・東京都中央区

正会員社 297社、賛助会員社 28社
計325社

2017年12月7日時点

報告事項

①第11回「地球温暖化防止キャンペーン」実施報告

1. キャンペーンのねらい

環境に優しい交通機関である鉄道

年を迎えられればと思います。

つい先日、あるテレビ番組でもかなり大きく取り上げられていましたが、昨今は多くの鉄道会社において、快適通勤や観光資源の活用をめざして、それぞれ斬新な新型車両の導入をしたり、駅の改良、沿線開発を活発にしているという状況にあります。が、これは、直接・間接に我々の鉄道広告にとっても抜本的に生まれ変わるチャンスだと思っています。「インスタ映え」というのが今年の新語・流行語大賞を受賞しましたが、例えて言えば「インスタ映え的」な効果のある、魅力的な情報発信力のある鉄道広告をめざして皆さまと力を合わせて頑張っていきたいと思っております。



挨拶する今本会長

で、引き続きどうぞよろしく願いいたします。
本日は、総会で決定いたしました事業計画の内、いくつかの案件について進捗状況を報告しご審議いただくというのがメインテーマでございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

に活動の基盤を置く公益法人として「地球温暖化防止」という公共性、社会性の高いテーマの鉄道広告キャンペーンを継続して実施することで、
(1)鉄道広告の持つ高い視認性とネットワーク力を活かして、環境問題に対する社会的警鐘を鳴らし、より豊かな社会の実現に寄与する。
(2)全国の鉄道会社が行っている環境保全へ向けての積極的な取組みを支援し、「CO₂排出量の少ない社会の実現に寄与すること」を目的とした。

2. キャンペーンの概要

主要鉄道路線の車内中づくり広告、ターミナル駅およびその周辺駅の駅貼りポスター、駅デジタルサイネージメディア等の鉄道広告をネットワークし、空き枠の活用などにより、できる限り集中掲出に努めた。

猛暑により地球温暖化防止の気運が高まる・各媒体社の空き枠対策に貢献できる、などの理由により、今回も8月の実施となった。

(1) 実施期間：2017年8月1日(火)～8月31日(木)
(2) 展開規模：全国主要の鉄道駅および鉄道車両に延べ枚数約50万枚のポスターを集中的に一齐に掲出

① 展開エリア：札幌、仙台、首都圏、名古屋、京阪神、高松、広島、福岡の各都市圏を拠点とした全国各地
② 対象路線：JR 6社、大手民鉄16社、地下鉄他13社 計35社局
(3) ポスター種類：
駅貼りポスター
(B0及びB1サイズ)
車内中づくりポスター (B3サイズ)
駅デジタルサイネージメディア

(4) 協賛：財団法人日本宝くじ協会
(5) 後援：環境省、国土交通省

3. キャンペーンコンセプト

第11回目の地球温暖化防止キャンペーンを実施するにあたり、以下のコンセプトに基づいて展開した。

モチーフは引き続き「野生動物」。

地球温暖化の影響を最も受けやすい象徴として「野生動物」があります。私たち人間は、生産活動によって大量のエネルギーを消費し、地球環境を破壊している加害者であり、野生動物は一方的にその環境変化の影響を受けている極めて弱い立場の被害者ということが出来ます。

森林、大地、海など美しい環境に生きる「野生動物」を描いたアートをモチーフにすることで、鉄道を利用する多くの人々が環境問題について考えるきっかけを今年も1枚のポスターから発信しました。

4. 制作協力

(1) ビジュアル提供：
宮田亮平氏 (東京藝術大学名誉教授
「シユプリング」)
大津英敏氏 (多摩美術大学名誉教授
「ホワイトタイガー」)
手塚雄二氏 (東京藝術大学教授「春雪譜」)
日比野克彦氏 (東京藝術大学教授
「haathes」)
(2) アートディレクター：蝦名龍郎氏
(3) コピーライター：根岸礼子氏 (マキプロ「エキからエコ」)

5. 立体的な展開

夏休みには、家族連れや親子連れの鉄道利用者が増加する。そこで、

家族で地球温暖化防止について考えてもらうための材料を提供した。

(1) JAFRAのホームページで各アーティストのプロフィールや作品に寄せるメッセージ、地球環境についての考えなどを紹介し、また、ポスターの一部に印刷されたQRコードからも、同様の情報を入手できるようにした。

(2) JAFRAのホームページから各鉄道会社のホームページにリンクを貼ることで、鉄道会社が現在取組んでいる様々な環境保全活動を紹介。
(3) 協賛、後援省庁・団体の環境保全活動への取組みサイトへのリンクなどを開設することでインターネットとの連動を図った展開を実施
(4) エコ、鉄道、アートなどのテーマで夏休みの宿題に取り組む子供たちに役立つ情報を、ホームページ上で提供。
(5) 過去の作品をアーカイブとしてホームページ上に掲載。

報告に続き、滝久雄美観風致委員会委員長と、当キャンペーンにアーティストとして今回もビジュアルを提供していただいた大津英敏理事より発言があった。

滝久雄委員長

今回の開催で11年になりました。今日もおいでのなっている大津先生



滝久雄美観風致委員長

ですが、最近は虎の先生と呼ばれるようになっていきます。普通に絵を描いてくださいとお願いすると、実は大変なことになるのですが、毎回みなさん快くお引き受けくださって大変感謝しています。先生方も自分のファンに絵を公開するということとお互いにいい関係にあるようで、鉄道の空間メディアとしての力を発揮することに貢献してくださっています。

大津英敏理事

2007年から11年間にわたって、キャンペーンに参加しておりますが、当初はキリンを描いたりしていましたが、その後はほとんど虎を描いています。キャンペーンの主旨になるべく沿うことができるようにと、分かりやすくあることと、大阪では虎が受けるのではないかと大阪出身の家族からの勧めもあり、虎を描くようになっております。住まい近くの

鎌倉駅で、今年も絵が貼ってありますねと言われると、正直自分でも悦に入っています。他の先生方もおっしゃっていますが、毎年このポスター50万枚が全国の駅に貼られるというとてもいいところに貼っていただいているので、キャンペーンの主旨からはやや外れるかもしれませんが、機会があればまた参加させていただきたいと思います。



大津英敏理事

レポートにもあるとおり各社より、掲載ポスターのモニターも毎回お送りいただいております、皆さまのご協力に感謝申し上げます。また、「地球温暖化防止キャンペーン」は来年度も引き続き実施の予定なので、ご協力をお願いしたいと今本議長から発言があった。

②「交通広告ビジネス概論2017」発行

人材育成委員会（小野寺忠之委員

長）では、セミナーや研修等を通じて鉄道広告業界の人材育成を目的のひとつとして活動しています。

「交通広告ビジネス概論2017」は、交通広告に携わる方々が業務上必要な情報のみならず、歴史等様々な側面から知識を得ることを目的に、2014年度版以来3年ぶりに内容を一新し発行しました。

○発行日…2017年9月25日（月）

○部数…2000部

○仕様…A4／4色／88P

○経費…2830千円

○スケジュール…

7月6日（木）

第1回 編集委員会・ワーキンググループ会議

編集内容・スケジュール確認

執筆者への原稿依頼、画像使用許諾手配等

9月25日（月）

第1回 人材育成委員会

「交通広告ビジネス概論」発行への取組内容の確認

○活用状況…

9月25日（月）

広告業界紙・誌21誌にリリースと本誌を送付

10月2日（月）～全会員社（324社）

及び各委員に送付

9月27日（水） 100部
近畿・中国・北陸支部 実務者研修会テキストとして活用

10月25日（水） 100部

首都圏支部 実務者研修会のテキストとして活用

希望の会員社13社に316部追加配布

2017年12月1日現在

ビジネス概論2017はJR東日本企画古川氏をリーダーに、新しい内容を踏まえ7月6日から鋭意取組み始め、9月25日にできあがりました。ビジネス概論を見ていただければ、新しい情報、歴史、その他交通広告全体のが分かるような仕組みになっております。機会がありましたらぜひ社員教育その他でお使いいただければと小野寺忠之委員長より発言があった。



小野寺忠之人材育成委員長

③「e・販促データシステム」の稼働状況

2017年度第1回理事会（6月12日）以降の「e・販促データシステム」稼働状況などについて報告があった。

アクセス状況

	会員	一般	合計
6月	2,586	112	2,698
7月	1,513	15	1,528
8月	1,649	2	1,651
9月	1,822	5	1,827
10月	1,669	23	1,692
11月	1,458	26	1,484

○システムの改修

会員各社に有効活用してもらうため、操作説明会において実施したアンケート結果及び会員から寄せられた要望を基に、毎月開催している編集会議で来年度のシステム改修の内容を議論し、次のような改修を予定している。

1. 改修内容

・「Station AD Planner」

「Train AD Planner」共通項目

①データ集（スペシャルコンテンツ）

の追加搭載候補

モデルプラン（サーキュレーションランキング、連合企画、駅施設情報（サンプル））搭載検討

②データポリシーの細かい用語解説追加

③ユーザビリティ全般の改善

ひらがな検索

CSVファイル表頭での「施設区分名表示」

・「Station AD Planner」項目

施設データの利用率の向上

名寄せの個別修正対応（フィルタの精度向上）

・「Train AD Planner」項目

路線図の全国化

中国地区の路線図を追加

2. 改修時期

2018年4月使用開始予定

3. 改修費用（見込）



栗原圭一調査研究委員長

約70万円（e・販促会員の会費を充当）
改修期間、費用については現在精査

中で、次回理事会（3月）にて詳細を報告予定。毎月1回研究会を開いています。使用量も大体安定しているし、これからも情報を提供していきたいと調査研究委員会栗原委員長より、発言があった。

④アカウントビリティ向上の活動状況

第1回理事会以降のアカウントビリティ向上の活動状況について報告があった。

1. 交通広告共通指標推定システム
会員社に動きはなく全49社が使用。

2. 交通広告共通指標推定システム
アクセス数の推移

今年度のアクセス状況は次の通り。

アクセス数	
4月	132
5月	97
6月	119
7月	93
8月	67
9月	96
10月	63
11月	91

3. 交通広告共通指標策定調査概要

・調査期間…2017年3月～6月
11社局4グループ、3日間

・調査対象…1都3県に居住する15歳から59歳で対象路線を利用した者

・サンプル数…9900（各線30

0サンプル×3日間）
2012年度実証調査からの累計数は66567人

ユニット別調査素材数 2017年度

ユニット名	調査素材数	累計
中づり（一般）	45	267
中づり（出版）	6	67
まど上	54	321
ドア横	21	178
ステッカー	33	185
ツインステッカー	10	76
ビジョン	29	170
合計	198	1,264

4. 交通広告共通指標化対象ユニット

(1) 既存6パターン「中づり（一般）」「中づり（出版）」「まど上」「ドア横」「ステッカー」「ビジョン」について、素材増に伴う共通指標の更新。

(2) 素材数合計が1200を超えたため、中づり、まど上以外のユニット

について「消費財系」「サービス系①②」「に留まっているものを「飲料・嗜好品」「観光・娯楽・外食」などに細分化して算出予定。

(3) 年令区分細分化のトライアル

5. 駅メディア調査

・調査対象ユニット…駅ポスター、駅デジタルサイネージ、サインボード、フラッグ、柱巻き

・調査期間…2017年8月～11月
11社局ごと、特定の1日

・調査対象…1都3県に居住する15歳から59歳で対象駅スポットを通過した者

・サンプル数…1733サンプル（各社局1駅スポット、100サンプル以上）

・調査対象素材数…62素材

現在、調査集計中。

結果については、次回理事会にて報告の予定。

6. プレスリリース

(1) 時期…2018年3月下旬を予定

(2) 内容（案）…

・「中づり（一般）」「中づり（出版）」「まど上」「ドア横」「ステッカー」「ビジョン」共通指標の更新

・駅メディア調査の調査結果から得られる知見。

内容はプロジェクト内で検討中。

また、大塚委員長より、素材数がいぶ増えたということで、データの細分化がされてきたと思う。駅メディアも、現在集計中で、その件についてまだまだ報告したい。この場をお借りして皆さまのご協力に御礼い



大塚尚司 アカウンタビリティ向上委員長

たします。と発言があった。

⑤支部の活動状況

昨年の定期総会以降の主な活動状況は以下のとおり。

(1)北海道支部

・7月27日(木) 交通広告研修会開催

講演内容:「安全安心な交通広告について」

講師:富士フィルムイメーシングシステムズ(株) 萩久保様ほか3名

参加者:10社30名

・8月 第11回地球温暖化防止キャンペーン

・10月11日(水)～13日(金)

媒体視察研修

研修場所:福岡駅・熊本駅

研修内容:「福岡・熊本駅の交通広告について」

JAFRA九州支部との意見交換会開催

参加者:7社9名

(2)東北支部

・8月 第11回地球温暖化防止キャンペーン

・12月11日(月) 支部総会・セミナー・懇親会開催(詳細はP10)

会場:ホテルメトロポリタン仙台 セミナー

講師:ジェイアール東日本企画 交通媒体本部 デジタルサイネージ推進

センター長 山本孝氏

演題:「デジタルサイネージにおける広告モデルの実務・事例紹介」

(DSCスペシャルセミナーより)

(3)首都圏支部

・7月10日(月) 会場:ホテルメトロポリタン池袋

支部総会 46社46名参加

幹事会

セミナー 47社82名参加

講師:モンデリーズジャパン株式会社 取締役マーケティング本部長

川鍋 洋治氏

演題:「消費財メーカーのマーケティング戦略と課題から考える交通広告・メディアへの期待」

・8月 第11回地球温暖化防止キャンペーン

・10月25日(水) 交通広告実務研修会

ジェイアール東日本企画会議室 研修内容

①交通広告の概要と実務

講師:(株)メトロアドエージェンシー 媒体戦略局 金沢 一幸氏

②交通広告の展開事例

講師:(株)オリコム OOHメディア局 吉田 勝広氏

③交通広告の倫理綱領、掲出基準

講師:(株)ジェイアール東日本企画 交通媒体本部 石黒 孝夫氏

④交通広告の掲出・撤去時の安全対策

講師:(株)ジェイアール東日本企画 交通媒体本部 紫藤 裕二氏

参加者:24社50名

・11月14日(火) 支部セミナー 会場:宣伝会議 会議室

演題:「帝人グループの広報戦略と実践」

講師:宇佐美 吉人氏 帝人(株) コーポレートコミュニケーション部長

参加者:16社30名

(4)中部支部

・7月24日(月) 支部総会・(株)ジェイアール東海エージェンシー会議室

27社38名参加

・8月 第11回地球温暖化防止キャンペーン

・9月7日(木)～8日(金) 媒体等

視察研修 博多・長崎

21社23名参加 JR博多駅 広告媒体視察

三菱電機(株) 長崎製作所視察

・10月16日(月) 支部セミナー JRゲートタワーカンファレンス

22社58名参加

講師:(株)リサーチ・アンド・デベロップメント ビジネスプロデューサー 堀好伸氏

演題:「若者の消費行動」シミュレーション消費」を乗り越える」

・10月～1月(or2月) 交通広告インタシンシップ2017

「交通広告インタシンシップ2017」 会員社:5社12名

参加大学:愛知大学 金城学院大学 中京大学 計19名

協賛広告主:ポッカサッポロフード & ビバレッジ(株)

スケジュール: 10月28日(土)

オリエンテーション

講義「交通広告概論」、「交通広告展開事例」、「交通広告営業」、「デジタルサイネージ」

協賛広告主オリエンテーション

10月29日(日)

講義「クリエイティブ」

11月25日(土) 広告制作プレゼンテーション

1月(or2月)

選ばれたチームの広告を「名古屋エクスプレビジョン」

で放映(予定)

(5)近畿・中国・北陸支部

・7月5日(水)

支部総会 44社44名参加

会場…ホテルグランヴィア大阪

幹事会

セミナー 47社92名参加

講師…西日本旅客鉄道(株) 鉄道本部

営業本部 瑞風推進事業部 部長

岡田 学氏

演題…「地域活性化における鉄道ビジネスのはたす役割とは」

「TWILIGHT EXPRESS瑞風の事例」

・8月 第11回地球温暖化防止キャンペーン

・9月27日(水)

交通広告実務研修会

(株)JR西日本コミュニケーションズ

35社87名参加

研修内容…

①「交通広告が注目を得るために必要なポイント」

事例紹介をまじえ

講師…(株)JR西日本コミュニケーションズ

企画部課長 土屋 樹一氏

②「交通広告とスマートフォンとの連携について」

首都圏交通広告のトレンドとトピックス

講師…(株)ジェイアール東日本企画

交通媒体本部 デジタルサイネージ

推進センター長 山本 孝氏

(6)四国支部

・8月

第11回地球温暖化防止キャンペーン

・9月13日(水) 第2回役員会

(株)ジェイアール四国企画 会議室

6社7名参加

・11月16日(木) 17日(金)

視察研修会

北陸地区の「交通広告媒体等」の視察及び北陸新幹線開業後の広告事情等ヒアリング

(JR西日本コミュニケーションズ北陸支店様)

7社9名参加

(7)九州支部

・8月

第11回地球温暖化防止キャンペーン

・8月28日(月)

支部総会 (JR博多シティ大会議室)

23社37名参加

セミナー

演題…鉄道広告の事故防止

講師…JAFRA 務理事 加藤 潔氏

26社47名出席

懇親会 (ごちそうダイニング「ななつの花」)

26社50名参加

・10月11日(水)

JAFRA北海道支部 視察研修来福

に伴う意見交換会の実施

・2018年3月(予定)

支部運営会議の開催

引き続き出席の各支部長より次の発言があった。

原口宰首都圏支部長

現在の交通広告の状況ですが、雨は降りださなくともいつ降るかわからない曇天といったところかと思えます。でも、雲の間から光が差す場面もあり、これからわれわれの努力しだいによつては晴れにも雨にもなるというところにいるのではという感じです。景気の動向も良いと言われる割には、企業の消費活動に結びつかない場合もあり、仮に広告費が増えても紙の媒体、交通広告にどれだけ流れて来るかというのは各社の努力しだいとなっているような気がします。一方で、世界情勢は、色々な臭いこともあり、景気の先行き、或いは社会の先行きに不安が広がっているかと思えます。こういう時こそ媒体社を中心に色々な提案をして商売をしていかなければと思います。皆さまのお知恵、お力をお借りして勉強して共にまい進



原口宰首都圏支部長

して行きたいと思っています。

阿久津光志中部支部長

名古屋駅前のJR東海が建設しましたJRゲートタワーをはじめとして、周辺のビルがフル稼働、全面オープンしたということで、この12月、名古屋駅の関係だけではなく、近隣のビルも巻き込んで、クリスマスに向けてさまざまな装飾がされています。また、JR東海、名鉄、近鉄など中づり広告のセット販売ができるよう調整しております。中部支部は、毎年学生の交通広告インターンシップを展開していますが、今年もポッカサッポロ様の協力をいただき、様々な学生に関心を持ってもらっています。オリエンテーションも終了し、これから広告を制作してもらい、最もよかった作品を、大型の「名古屋エクスプレビジョン」を使って発表してもらう予定です。学生をはじめとする若い方にも鉄道広告に親しんでもらいたいと考えております。



阿久津光志中部支部長

田中善一郎四国支部長

先週の研修では、J R西日本コミュニケーションズ北陸支店の方に大変お世話になり、金沢駅、富山駅を視察させていただきました。新幹線ができた時に、その媒体も変わり、メインのところは見事にクライアントの棲み分けが出来ており、以前とは随分違った印象を感じ、これから変わっていくのだろうと実感したところです。

四国で話題になっていることですが、今治に加計学園があり、交通広告としては今治にサインボードを出すことになっていまして、現在「認可申請中」の札が掲出されています。スケジュールが随分変わりましたの



田中善一郎四国支部長

で、この後どうなるのかということですが、地方都市にとりまして、全国から学生を呼べる可能性のある大学となりますので、引き続き注目していきたいと思います。

今後のスケジュール

〈年賀会・理事会・総会〉
2018年1月5日(金) 15時30分

四国支部

研修会を行いました

四国支部(田中善一郎支部長)では、11月16日、17日の2日間の日程で研修会を行いました。

* * *
日程: 2017年11月16日(木)

支部便り

東北支部

東北支部総会を開催しました

12月11日(水) メトロポリタン仙台において、2017年度JAFRA東北支部総会ならびにセミナー、懇親会を開催しました。総会には会員15社中12社27名の参加

17時00分

平成30年「広告界合同年賀会」

会場: 帝国ホテル本館2階「孔雀の間」

共催団体: 広告関連31団体

3月8日(木) 15時00分

2017年度「第3回理事会」

会場: (株)ジェイアール東日本企画

10階大会議室

・2018年度事業計画(案)

・2017年度収支決算(見込) 及び

2018年度予算(案)

6月上旬

2018年度「第1回理事会」

会場: (株)ジェイアール東日本企画

10階大会議室

6月26日(火)

2018年度定期総会 14時00分

セミナー 16時00分

懇親会 17時30分

会場: ホテルメトロポリタン(池袋)

委員会

●技術開発委員会 情報交換会

2月16日(金)

会場: ジェイアール東日本企画会議室

●第3回総務・財務委員会

3月上旬

会場: ジェイアール東日本企画会議室

以上をもって今本議長は、16時29分「2017年度第2回理事会」の閉会を宣言した。

がありました。百々東北支部長の挨拶の後、議題の審議に移り、それぞれ承認されました。

支部総会

《平成28年度東北支部事業報告》

・支部総会の開催

・支部セミナーの開催

・地球温暖化防止キャンペーンの実施



JR 西日本コミュニケーションズ北陸支店内で説明

R 西日本コミュニケーションズへ
ヒアリング
J R 西日本コミュニケーションズ
との交流会

* * *

北陸新幹線金沢延伸から2年半
が経過した北陸地区の交通広告事
情について、J R 西日本コミュニ
ケーションズ北陸支店へヒアリン
グをするとともに、富山駅及び金
沢駅の交通媒体の視察を行い、大
変有意義な研修となりました。ご
手配、ご協力いただいたJ R 西日
本コミュニケーションズみな様
にはこの場をお借りして厚くお礼
を申し上げます。



金沢駅構内のデジタルサイネージ



富山駅構内の媒体視察



支部総会に参加された皆さま

※(参考) 日本鉄道広告協会(本部)
の活動について

支部セミナー
同日、(株)ジェイアール東日本企
画 交通媒体本部 デジタルサイ
ネージ推進センター センター長の
山本孝氏より、「デジタルサイネー
ジにおける広告モデルの実務・事
例紹介」DS C スペシャルセミ
ナーより」と題したセミナーを
開催、出席した会員は熱心に耳を
傾けていました。

懇親会
支部総会の終了後、同ホテルに
おいて懇親会を開催しました。懇
親会には、会員15社中12社26名と



懇親会



セミナー講師山本孝氏

セミナー講師の27名の参加があり、
出席された会員社の皆さまは和や
かに親睦を深めました。

合同年賀会を開催しました

1月5日（金）、今年も広告関係31団体共催による「広告界合同年賀会」が、東京都千代田区の帝国ホテル「孔雀の間」で開かれ業界関係者ら1700人余の参加がありました。

全日本広告連盟大平明理事長、日本新聞協会白石興二郎会長、日本民間放送連盟井上弘会長、日本雑誌協会鹿谷史明理事長、日本雑誌広告協会堀内丸恵理事長、日本屋外広告業団体連合会富田栄次会長、日本広告業協会成田純治理事長、日本アドバタイザーズ協会伊藤雅俊理事長の8



鏡開き

名が登場し、鏡開きが華やかに行われました。

続いて、全日本広告連盟大平明理事長が「今年の干支は戌戌（つうつう）です。樹木が成長し、生い茂る、お金や人の出入りがよくなるということで、経済の成長を暗示しています。同じく戌という文字は上に草冠を付けると『茂』という字になり、これは、草木を剪定する、きれいに整理整頓するということにもつながります。60年前は東京タワーを建てたことで、テレビのネットワークが完成しました。120年前には第1次大隈重信内閣が誕生し、日本初の政党内閣が始まっ



関の声と共に乾杯

事務局からのお知らせ

た年でもあります。広告界は、デジタル化、グローバル化、ソーシャル化、IT化と激しい流れの中にあります。この大変換の今は、コミュニケーションが重要な時代でもあります。人の好き嫌いをなくし、普段は嫌いな人とても、話し合うということが大事です。知恵を出し合い、恵まれしを知り、面白い年にしていきましょう」とあいさつし、今年も関の声をあげましょうとエイエイオウの掛け声とともに乾杯の発声がありました。

今年も江戸囃子「鼓太郎」が場内を明るく盛り上げ、出席された皆さまは新春の挨拶を交わされていました。

そして、大変気の早いお知らせですが、来年の年賀会も2019年1月8日（火）同会場での開催が決定しております。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ (<http://j-jafra.jp>) の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力をお願いします。

編集後記

東京は今年も大雪に見舞われ、鉄道も道路も混乱していましたが、「Wow!!」と大はしゃぎしている海外からの観光客をよく見かけました。最近は雪かきツアーなるものも企画されているようですので、ちょっと参加してみようかと思っています。皆さまのおすすめ春の旅行先教えてください。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。 information@j-jafra.jp

●次号Vol.47は4月1日発行予定です。お楽しみに。

